

弘岡上地区より

### キュウリ栽培に手応え

はまだ ひでかつ  
濱田 英克さん

担い手育成センターや春野町の指導農業士のハウスで研修した後、独立してキュウリを栽培しています。東京でIT関係の仕事をしていましたが、農業をしたくて高知に帰ってきました。手をかけただけキュウリは応えてくれるので、農業を選んでよかったと思います。

JAや青壮年部の勉強会にも参加して情報を得たり、次の作に向けて準備をしています。



### トラクターに乗る人になりたい！

やまむら こうが  
山村 光冴くん

春野西保育園のもも組に通っているよ。保育園では砂場で遊んだり、みんなで植えたかぼちゃやオクラの世話をしているんだ。僕は動く車や機械が大好き！お父さんとブルドーザーを見に行ったり、キュウリを持って行くときにJAのロボットアームを見てるんだ。おじいちゃんとはショベルカーのおもちゃで遊ぶよ。大きくなったらトラクターで耕す人になりたいな。

お父さんとお母さんはそんな光冴くんに元気で大きくなって欲しいと願っています。



高知地区

から こんにちには  
今月の〇〇 気になる人

直販部より

### なつくと可愛いピンポンパール

かわさき しょうこ  
川崎 紹子さん

オクラと趣味で育てているメダカや金魚を直販所に出しています。メダカは4種類、金魚は2種類です。特にこのピンポンパールという金魚は、慣れると水面まで近寄ってきて可愛いんですよ。直販所には毎日来ています。仲間とわいわい話をするのも楽しみです。

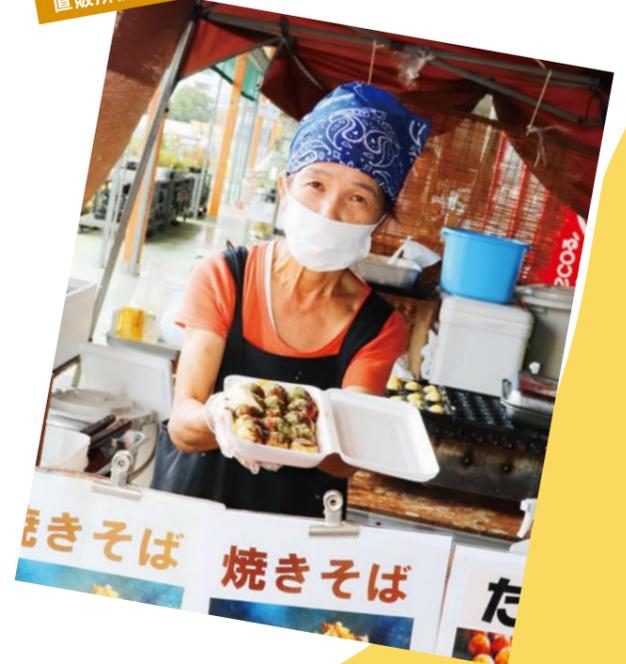


### 喜ぶ顔が見たくて、大盛り！

かぎやま さちこ  
鍵山 幸子さん

お客さんの笑顔が見たくて、焼きそばは大盛り、たい焼きはあんこがたっぷりです。味にもこだわって、ソースは手作り、小豆や黒糖、和三盆など国産の材料を使っています。ほとんど趣味かも(笑) 毎週水曜日と日曜日に直販所前に店を出しています。お買い物のついでに寄ってくださいね。

直販所前「菊一」より



# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



除草と耕うんを同時に行いスピードアップ

## 1 青壮年部

### 農地と地域を守る、耕作放棄地対策事業

高齢化による離農や担い手不足により、春野町では耕作放棄地や不作付地が増加し病害虫や鳥獣の温床となっています。春野青壮年部では勉強会を立ち上げ、鳥獣害対策に取り組むとともに、有料で作業を請け負い今年で5回目となりました。

のべ30名の部員が8月20日と23日の2日間、手動の刈り払い機でふちの草を刈り、除草用機械「フレイムモア」で背丈より高く生い茂った草や絡み付いたツタを刈り取ります。その後、草の根を切る耕うん作業を丁寧に行い、手付かずだった放棄地は耕作可能な状態に復元されます。今年度は約50アールの耕作放棄を解消しました。尾仲和人青壮年部長は「地域から要望はあるが、部員だけでは活動日数などが限られてくる、関係機関とも検討してこの事業を続けていきたい」と、今後の取り組みを話しました。

## 2 高知市

### 農業はIoTの時代へ



壇上で講演する越智史雄さん

8月6、7日の2日間、高知市のちばさんセンターにて、最新の施設園芸機器や農業用ドローンなどの展示を行うNext次世代型施設園芸技術フェアが開催されました。

高知県や大学、企業関係者による講演が行われる中、7日には春野町仁ノ地区でキュウリ農家を営む越智史雄さんが「IoT就農者による次世代型農家経営の取り組み」をテーマに100人を超える聴衆を前に講演を行いました。

越智さんは「データの積み上げは栽培や経営に向けた貴重な情報を生み出す。感覚でなく数字で把握することが大切」と話し、質の高い農家経営のために企業と同様に営農ビジョンを策定し、PDCA（計画・実行・検証・改善）サイクルを実践することが必要と説明しました。

また高知県が推進するAIやIoTを活用したNext次世代型施設園芸農業に強い関心を持ち、IoT（Internet of Plants）構想に自ら積極的に関わっていききたいと語りました。

## 3 直販所「春の里」

### 小さなお客さま、ご来店♡



8月9日、直販所「春の里」に可愛い園児のお客さまが来店しました。

春野町内ノ谷の「わらべ館」の14人の園児は直販所担当者に「JAは何をする所ですか」と質問した後、500円玉を持って売り場へ。大きなカボチャを見てびっくりしたり、お気に入りの野菜を見つけて面白い物を楽しみました。またのご来店、お待ちしております。

## 4 販売課

### 令和元年産米の出荷ピーク



米の等級をつけるJAの検査員

JA春野管内では、順調な生育をした水稲が、8月中旬に刈り取りのピークを迎えJAへの出荷が始まりました。コシヒカリを中心に8月末までに約10000袋（袋30kg）が集荷。検査員が胴割れや心白、カメムシによる斑点米などの有無を確認し、等級をつけています。販売課の安岡鑑定士は「台風10号の影響を懸念して早刈りをした結果、未熟米が多く出たが、食味に影響はなく、2等米が中心で品質は安定している」と結果を報告しました。

集荷は9月上旬まで続き、県内外へ順次新米が出荷されます。

## 5 女性部対話学習会

### ざっくばらんに意見交換



開会の挨拶をする上田千代部長

女性部は8月26日、JAグリーン大会議室で女性部対話学習会を開催しました。女性部員33名、JA役員14名の合計47名が参加し、対面形式でざっくばらんに活発な意見交換が行われました。

「信用窓口」に杖を挟むホルダーを取り付けて欲しい」「文書配布の時に手渡しでコミュニケーションをとって欲しい」「水稲苗の根張りが弱いので来年度は改善して欲しい」「(抜粋)等、多数の要望や意見が出されました。島田統括常務は「改善できる点は早急に対応し、いただいた意見をもとにより良いJA作りにつなげたい」と話しました。

## 6 女性部

### おみそ、作ってみませんか？



女性部の活動で人気のあるみそ作り。森山加工所で4日間かけて女性部員がみそを仕込みました。部員の元吉有紀さんは「三回目の参加です。手作りのおみそは美味しいので、仕上がりを楽しみ」と話しました。この日仕込んだみそは6カ月熟成させ、家庭で楽しめます。「甘めのお酢で溶いて酢みそ風にしても美味しい」などレシピを教えられました。

女性部に参加しませんか？ お問い合わせは、営農渉外課（0894-5660）まで。

# ～果樹の整枝・せん定～

果樹栽培にとって整枝・せん定は、大事な作業になります。枝をそのままにしておくと、樹が高くなり、枝が混み合い、衰弱していくからです。

「せん定に慣れていない」、「せん定しようとしてもどこから手をつけていいかわからない」といった相談を受けることがあります。

そこで、せん定の手順を簡単に紹介します。

## 1 太い枝を切って樹高を低くする（切り戻しせん定）

せん定しようとする樹が大きく高くなっている場合、特に3～4m位では、収穫も大変ですし、薬剤防除するにしても、薬剤が届きにくくなります。そこで、自分の作業性が高い高さまで切り戻しをしてあげましょう。ただし、1年でバツサリと切ってしまうと場合によっては枯れてしまうことがあります。そのため、自分の目的とする高さまで毎年50cm程度ずつ切り、無理なく樹高を低くする方法もあります。そうすることで、作業がしやすくなり、収穫にかかる労力が軽減されます。

## 2 不要な枝をつけ根で切り取る（間引きせん定）

どんな樹でも順調に生育すると枝が混み合ってきます。混み合った枝をそのままにしておくと、日当たりが悪くなり、病害虫の発生が多くなります。そのため、間引きせん定により、不要な枝や病害虫におかされている枝を取り除き、日当たりを良くし、薬剤をかかりやすくします（図1参照）。

不要な枝とは、内向きにはえている内向枝、同じ所からたくさんはえている車枝、垂直にはえている徒長枝、枝の伸びと逆にはえている逆行枝、2本の枝が平行にはえている平行枝、隣の樹と重なりあって邪魔になっている枝などです（図2参照）。

## 3 残した枝の先端を切り詰める（切り戻しせん定）

最後に当年（4～10月）に伸びた枝のみを選んで先端を切ります（図1参照）。この切り戻しせん定の目的は翌年に充実した枝を発生させることにあります。

果樹の整枝・せん定は、樹勢や立地条件等によっても違ってきますので、普段から良く樹を観察し、整枝・せん定を行うことが大切です。

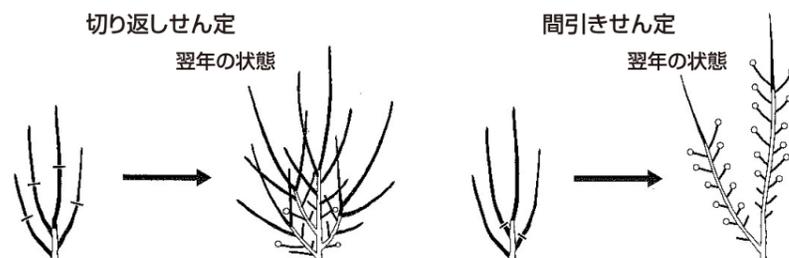


図1 切り戻しせん定と間引きせん定

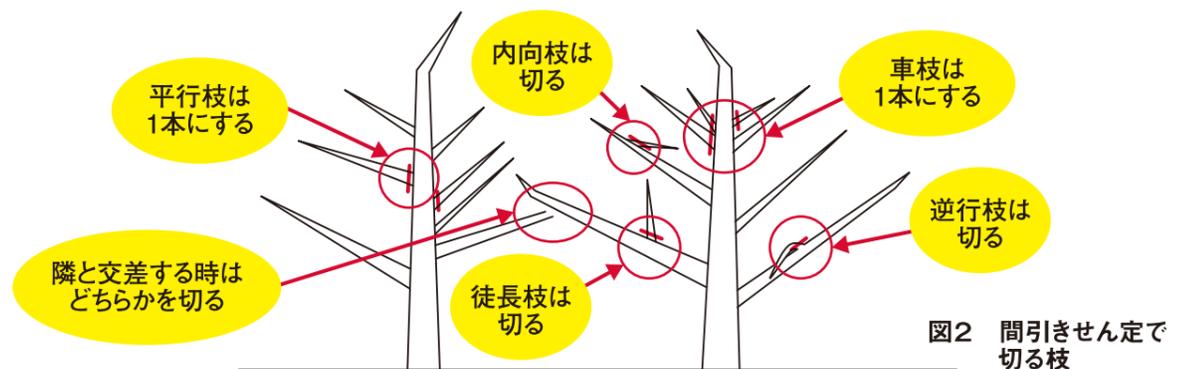


図2 間引きせん定で切る枝



鳥獣被害対策専門員からのお知らせ

# 小型箱罠で自分の圃場を守ろう

## ～農業者自身による小型箱罠を使用した鳥獣捕獲～

2017年4月1日以降、狩猟免許を持たない農林業者が事業敷地内で小型箱罠による有害鳥獣捕獲の許可を受けられるようになりました。高知市では保険に加入した上で農林水産課に届けを出し、受理されれば、狩猟免許を所持していない人でもハクビシンやタヌキ等の有害鳥獣が捕獲可能になります。詳しくは営農渉外課（TEL：088-894-5660）までお問い合わせください。



小型箱罠

### イノシシの出没状況を監視するため設置している自動撮影カメラの場所

●→自動撮影カメラの設置地点（甲殿地区・2019年9月1日現在）



### 今年度（令和元年度）の春野町内での捕獲実績（イノシシ） （地区別・4/1～8/30）

西分	3頭	弘岡上	4頭
秋山	5頭	弘岡中	11頭
内ノ谷	1頭	弘岡下	11頭
芳原	11頭	西畑	3頭
森山	9頭	仁ノ甲殿	4頭

合計…62頭



記事作成：春野営農経済センター  
営農渉外課 鳥獣被害対策専門員 岡 真由美  
（携帯：090-3189-0373）



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

甘いスイカができました。近所におすそ分けしてよろこんでもらっています。素人ですので収穫時期がわからず苦労しました。

(高知市薊野 大利さん)

▼9kg級で、動物よけのカゴより大きくなったとは！素人どころか「スイカ名人」ですね。

レシピの記事は見えていて楽しいです。若い方が農業でがんばっているんですね。暑いけど、がんばれ！私は庭でプチトマトを作っています。

(ペンネーム リマ)

▼こうぐりのレシピは高知県産の野菜の紹介も兼ねています。ぜひ直販所なども覗いてみてくださいね。プチトマト、お孫さんが全部食べてしまったとか、美味しかったですね。

毎週末、必ずJA春野に行き旬の野菜を1週間分買ひ込みます。はるちゃんアイスやてんぷらも絶品です。

(ペンネーム 4年に一度)

▼ご来店ありがとうございます！これからも安全・安心な春野の野菜をご家族で召し上がってくださいね。

今年の夏の暑さはこたえまじた。弘岡カブを作っていますが、農作業がしんどくなりました。

(高知市弘岡中 寺田さん)

▼春野特産の弘岡カブ、お漬物で人気がありますね。お身体を大切にお仕事なさってください。

春野では美しい黄金色の稲刈りが始まり、よさこい祭りにもぎやかです。まだまだ暑いですが、この夏を無事に過ごせよう体に体調管理に気を付けます。

(ペンネーム あじさい)

▼台風の影響もありましたが、春野町では今年もたくさんのお米がとれました。よさこい祭りも天候にめぐまれましたね。暑い日もありますが、お元気で過ごしてください。

JA高知県総代会記事より、准組合員は「農業振興の応援団」と位置づけ、私たち准組合員の居場所が示されたと思いました。

(短歌2首)

有用たる老人でありますよつと  
氏神様に夏祭りの夜  
姉の働きすぎる健康を  
案じつ吾も畝打ち返す

(ペンネーム 鶺鴒)

▼ご自身も家庭菜園を営まれている鶺鴒さん。JA高知県は組合員、准組合員、地域の方にとてもなくてはならない組織を目指します。

## 【連絡先一覧表】

### 春野支所

総務課

894-3033

信用課

894-2203

共済課

894-3304

金融渉外課

894-3309

高吾サービスセンター(事故処理)

892-3605

### 営農経済センター

販売課

894-2222

営農渉外課

894-5660

購買課

828-6111

ビニール加工場

894-4264

農機センター

894-5290

### 営農経済センター

店舗課

828-6116

JAグリーンはるの店

828-6161

配送部門

828-6113

重油係

828-6115

Aコープはるの

894-2225

養鰻出荷・加工場

894-5424

はるちゃんのアイス屋

894-2760

### JA子会社

(株)JAエナジーこうち 春野給油所

828-6212

ルミエールはるの

(フリーダイヤル24時間)

0800-200-5911

## INFORMATION

# お知らせ



営農渉外課より

## タイヤの泥を落としましょう

トラクター、コンバイン等圃場から出る際にはタイヤの泥やワラ、草等をよく取り除きましょう。公道に泥等が落ちると交通の妨げになります。ご注意ください。

## 家の光

2019年10月号 定価 617円 (税込)

### 〈特集1〉農村で働く仲間 外国人と共生するヒント

改正出入国管理法によって、今年4月から5年間で、最大34万5000人の外国人労働者を受け入れることになりました。農村でも、農業を支える仲間として外国人が増えていきます。言葉や文化が異なる人々と地域で共生するにはどうすればよいのか、農業現場で働く外国人の声とともにお伝えします。



### 〈特集2〉仕上がり激変! 洗濯の新常識

ふだんおこなっている洗濯でも、まちがったやり方をしていることに気づいていないケースも多く見られます。そこで、正しい洗濯法を洗濯のプロ・中村祐一さんが解説。いつものやり方と比べて、どれだけ違いが出るのかをわかりやすく紹介します。